

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	カネキ本社工場建替計画	階数	地上1F
建設地	京都府久世郡久御山町市田祇園田	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2018年3月22日
敷地面積	10,337 m ²	作成者	鈴木 武夫
建築面積	5,869 m ²	確認日	2018年3月30日
延床面積	5,846 m ²	確認者	大塚 貢

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.9</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>第4種特別工業地区における工場施設として周辺環境に配慮した配置計画とした。</p>	<p>その他</p> <p>建設工事における廃棄物削減に取り組んでいる。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材・天井材・接着材・建具・塗装材等の室内に面する建材は全てホルムアルデヒド放散等級区分「F☆☆☆☆」又は規制対象外の材料を使用する。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>空間のゆとり配慮している。 設備機器、配管の更新性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺のまちなみや景観に対して配慮がしている。 地域性・アメニティの配慮に関して取組が行われている。 敷地内の歩行者空間等へ風を導き、暑熱環境を緩和している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>照明設備の高効率化を図っている。 一次エネルギー消費量はB E I m=0.7である。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>特になし</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>地表面の被覆材に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される